

ゆのはな

社会福祉法人 農協共済
別府リハビリテーションセンター

すべての人が地域でしあわせに生活できる社会の実現
～Be true to Rehabilitation～

BRCだより
第13号
2019.10

別府リハビリテーションセンターの秋に想う

センター長 長岡 博志



「千早ぶる神代もきかず竜田川からくれなゐに水くくるとは」

これは、古今和歌集に収載されている在原業平の歌です。百人一首にも選ばれており、最近では漫画・アニメや映画で取り上げられたので、ご存知の方も多いかと思います。竜田川は奈良県にある紅葉の名所ですが、その川面に敷き詰められたように浮かぶ紅葉（もみじ）の様子が見事に表現されています。以前、競技かるたをしていた娘の影響で、私も百人一首を少し勉強しました。その際に百人一首には日本の美しい四季を詠んだ素晴らしい歌がたくさんあることに気づきました。特に秋の歌は四季の中でも圧倒的にその数が多く、二十首程が詠まれています。赤や黄色に色づく山々。日暮れの影も長くなり、どこことなく寂しい夕暮れ。収穫の終わった田んぼに来年の豊作を願う人々の様など、秋という季節には日本人の心の琴線に触れる何かがあるように感じます。

今回の「ゆのはな」が発行される頃には別府リハビリテーションセンターの周辺も、しっとりとした秋の風情が感じられるようになっていることでしょう。いつもは威厳に満ちた鶴見岳や緑に映える扇山に目を奪われがちですが、この時期だけは紅葉した周囲の山々が「秋は私たちが主役だよ」と主張しているのではないのでしょうか。

さて、当センターでは多くの患者・利用者の方々が機能回復、日常生活動作向上、そして自宅や社会復帰に向けて日々のリハビリに頑張っていると思います。特に回復期リハビリ病棟では、限られた入院期間の中で目標とする機能回復が達成できることを目指し、365日休みなくリハビリサービスを提供しております。患者さんお一人おひとりの年齢、疾患、障がいや合併症等を考慮し、多職種からなるチームで最適なリハビリ実施計画を策定しています。その上で各スタッフによる個別リハビリとウェルウォークやReoGo-Jといった最新機器を組み合わせた、より効果的なリハビリを実施しております。

充実したリハビリ、温泉でのゆったりとした入浴、そして楽しい食事。一日の忙しいスケジュールをこなして心地よい疲れを感じたら、その後には紅葉に彩られた別府の山々がきっと皆さんの心を癒してくれることと思います。



別府リハ 秋祭り2019



10月6日（日）に「別府リハ 秋まつり2019」を開催しました！

「社会復帰をめざすリハビリ」を紹介するコーナーでは各施設の取り組み紹介や利用者の方の作品展示・販売・健康講話がありました。また、医療・福祉コーナーでは「リハビリ体験」「筋肉量測定」など、多くのお客様でにぎわったほか、「リハビリ学生セミナー」では未来のPT・OT・STたちが熱心に話を聞いていました。

いっぽうステージは、今年もマーチングバンドやダンス、エイサーなど、地域の方々の素晴らしい演奏や演技で大いに盛り上がりしました。さらに毎年おなじみJAべっぴん日山の「直売会」、くじ引きや輪投げなどで遊べる「ちびっこ広場」、豪華景品が当たる「ガラポン抽選会」なども大盛況で、楽しい一日はあっという間に終わりました。

ご来場された方やご協力いただいた皆さまに心からお礼を申し上げます。

別府リハ 秋まつり 2019 実行委員会事務局



自動車運転再開支援（ドライビングサポート）について



当センターでは障がいのある方々の社会復帰のため、様々な支援に取り組んでいます。

大分県は都市部に比べ公共交通機関の利便性が十分でなく、自動車運転の再開を望まれる方が多くいます。センター敷地内には、全国的にも珍しい自動車運転コースがあり、机上検査から実車まで、総合的に自動車運転評価をすることが可能です。

近年注目度の高い、自動車運転支援（ドライビングサポート）の取り組みについて2018年度の実績を紹介いたします。

ドライビングサポートの流れ

1次評価

- ・運転適性評価
- ・神経心理学的検査
- ・簡易自動車シミュレータ評価
- ・脳卒中ドライバーのスクリーニング評価

ドライビング カンファレンス

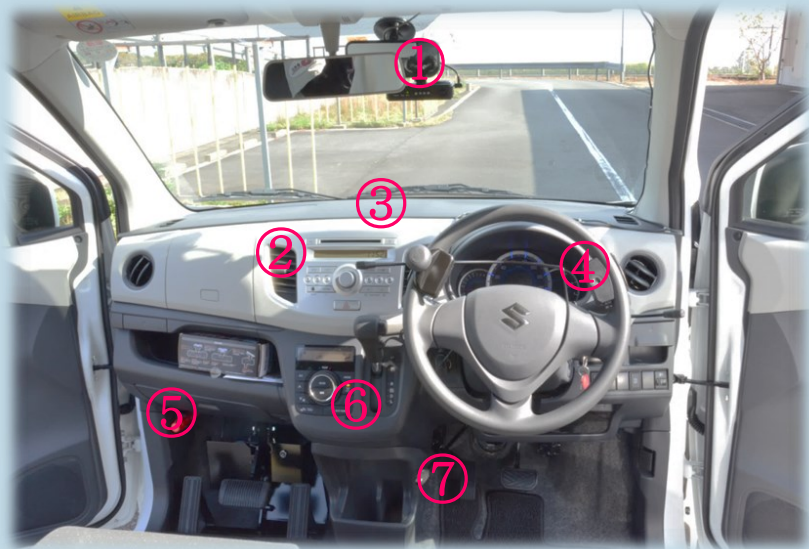
- ・1次評価をもとに担当チームによるカンファレンス
- ・2次評価を実施するか総合的に判断する

2次評価

- ・施設内運転コースでの実車評価（作業療法士が同乗）

1次及び2次評価の結果をもとに総合的な判断を行い、診断書と意見書を作成し、公安委員会での臨時適正相談へとつないでいます。

★（練習用）車両

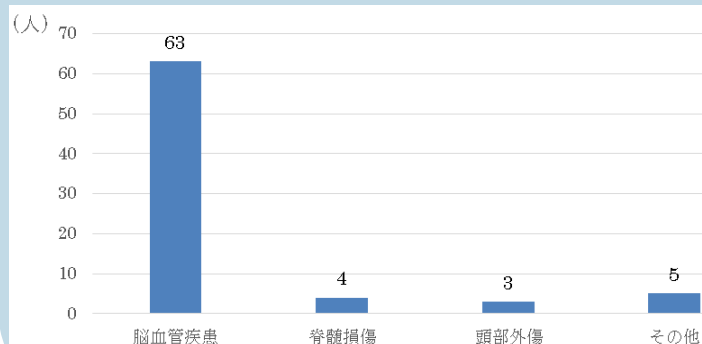


乗用車と軽自動車を用意しています。片手片足や両手での運転が行えるようになっています。

- ①ドライブレコーダー
- ②左ウインカー
- ③回旋ノブ
- ④ウインカー延長
- ⑤補助ブレーキ
- ⑥駐車ブレーキ・手押しレバー
- ⑦左アクセル（吊り下げ着脱式）

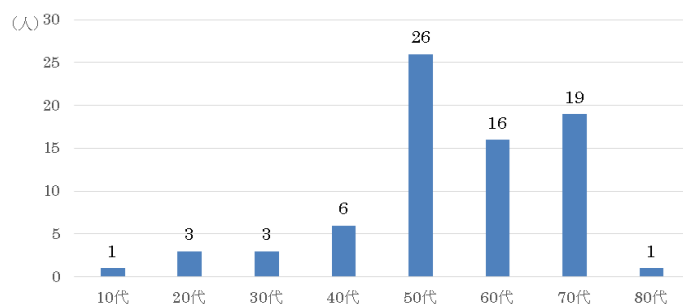
★疾患別対象者数

脳血管障害の方が多くを占めています。また骨折等の整形疾患の方でも運転に対する不安がある場合においてもドライビングサポートが行えます。



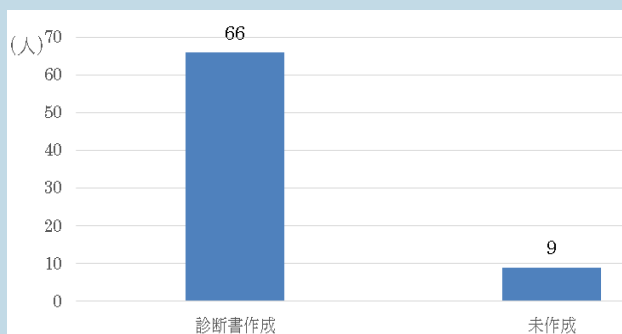
★入院患者の年代実車人数

ドライビングサポートを受けた人数は75人でした。年代別の内訳としては50歳代～70歳代が多く、平均年齢は59.1歳でした。



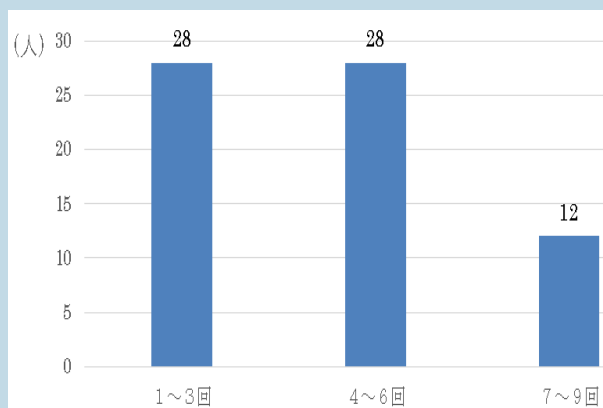
★公安委員会提出用の診断書作成の割合

ドライビングサポートを受け、9割の方が診断書を作成し、公安委員会へ提出しています。診断書作成とならなかった方の理由としては、医学的観点から安全な運転が可能と判断できなかったためです。



★実車回数

複数回の実車が可能であり、平均実車回数は4.4回でした。



回復期リハビリテーション病棟での看護師の役割

看護師 神鳥 未希

私は回復期リハビリテーション病棟で働いて約10年になります。患者さんやご家族へより質の高い看護が提供できるようになりたいと思い、回復期リハビリテーション病棟協会が主催する「第10期回復期リハ看護師認定コース」を受講し認定を取得しました。

病棟では患者さんの日常生活動作を向上させ、寝たきり防止や在宅復帰を目指し支援させて頂いています。急性期を経て、病状が安定した患者さんが回復期リハビリ病棟へ入院してこられます。

他の病棟と異なるところはリハビリの時間が長く、病衣ではなく普段着で過ごし、食事は食堂で、排泄はトイレで、洗面や整容は洗面所で行い、出来るだけベッドから離れた生活をするということです。

また、患者さんを中心に医師・看護師・介護福祉士・理学療法士・作業療法士・言語聴覚士・社会福祉士・薬剤師・管理栄養士・公認心理師等、多職種がチームを組んでリハビリテーション医療を提供しています。その中で、看護師の役割は、日々患者さんの体調管理を行い、スムーズにリハビリに取り組めるよう支援することです。リハビリでの状況を共有し、食事や排泄動作など日常生活動作の自立を目指し、ご自分で出来るようになったことはリハビリ以外の病棟で過ごす時間にも取り入れ、習慣化させ、確立できるよう支援しています。

患者さんやご家族は長期の入院や、病気による後遺症と付き合っていかなければならないため、今後の不安やストレスも抱えていると思います。少しでも、不安やストレスが軽減できるよう寄り添い入院生活をサポートしていきたいと思っています。



自宅でもできる！ かんたんエクササイズ！ 第7回

理学療法士 おだわらこうじ
小田原幸治

腰痛

お困りの方へ



やってみよう セルフ筋膜リリース!!

腰痛と聞くと腰だけをマッサージする人がほとんどかもしれませんが、しかし、脊柱起立筋群とお尻の筋肉は一つとして考えていいほど、筋膜の強固なつながりがあります。腰背部とともにお尻をほぐすことは、痛みの解消には不可欠であり、正しい位置に整えることで、太ももの裏側から脚の外側に響く痛みを感じられます。



タオルをしく

床に座り、体の後ろに巻きタオルを横向きに置く。巻きタオルに整える側のお尻（左側のお尻）を乗せ、後ろに手をつく。



STRETCH

中臀筋を伸ばすために、左足を右ひざに乗せる。



10秒PRESS

左のお尻により体重がかかるように下半身を左に傾け、腰を少し前にスライドさせて伸ばしていく。

4 反対側も同様に



発行： 社会福祉法人 農協共済 別府リハビリテーションセンター

日本医療機能評価機構認定 / 日本脳卒中学会認定研修教育病院 / 日本リハビリテーション医学会認定研修施設



〒874-8611 大分県別府市鶴見1026-10

TEL0977-67-1711 FAX0977-67-1712 <http://www.brc.or.jp>

製作：回復期リハビリテーション部 広報誌係